

渋谷区議会議員・ながつま昭元公設秘書

中田 たかし

2児のパパ
31
歳



衆議院議員 ながつま昭

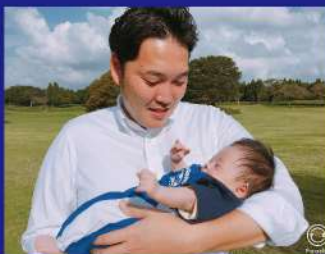
1989年(平成元年)9月19日生まれ
渋谷区円山町在住

家族 妻、息子(2歳10ヶ月)、娘(1歳2ヶ月)
特技 料理(夕飯は5品以上作ります!)
趣味 自転車(大学時代、東京~福岡を往復)
好きな食べ物 ラーメン、焼き肉、お寿司

学歴 駒澤大学法学部卒業
明治大学公共政策大学院修了
(公共政策修士)

経歴 衆議院議員ながつま昭元公設秘書
2019年4月 渋谷区議会議員に初当選

東京都議会議員選挙の公認が決定



毎日のお風呂入れが
楽しみです!



ながつまさんと選挙を
3回戦いました!

都政課題への取り組み

広尾病院の独立行政法人化に反対

現在都立広尾病院は、新型コロナウイルス対応の「重点医療機関」としてコロナ病床を確保し、運営を行っています。独立行政法人化をしてしまうと、行政的医療の後退につながってしまう可能性があります。立憲民主党は、都立病院は、公社病院も含めて「都立病院」として一体的に運営するとともに、感染症対策など行政的医療の強化に向け、その役割を明確に位置づけていきます。

自立憲民主党渋谷区政レポート

羽田新ルート
特集号

渋谷の空に平穏と安全を!

立憲民主党渋谷は都心上空の低空飛行に反対します!

01 目的を失った羽田新ルート

2020年3月29日から運用を開始した羽田新ルートについて、国土交通省は、オリンピック・パラリンピックを契機に海外からの旅行客やビジネスマンなど、将来のインバウンド需要の増加を見込み、羽田空港における国際線を6万回から9.9万回に増やすために必要だと説明してきました。

一方、このコロナ禍で2021年3月の訪日外客数は2019年同月比99.6%減となりました。国際線の減便による運用状況は想定を大幅に下回り、現在、新ルート運航便は大半が国内線です。もはや国土交通省が説明してきた当初の想定と目的は失われたと言わざるを得ない状況です。

「海から入って、海から出る」従来ルートの運用が可能な状況で、新ルートを飛行することに同省担当者は「国際競争力の強化と騒音負担を首都圏全体で共有する必要があり、引き続き運用していく」としています。

羽田新ルート増設の本当の目的は何だったのでしょうか。

アフターコロナの国際情勢、社会状況、環境配慮の観点からも、実情を踏まえた政策転換が求められます。

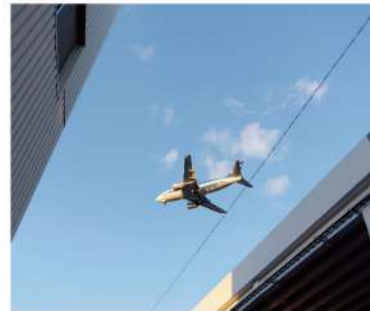


02 区民の生活と安全を守るのが政治の役目

国土交通省は2020年6月から3回に渡り、新ルート^①の固定化回避のための検討会を開催しています。会議の名称から想像するとあたかも廃止も視野にあるかのようですが、国土交通省によると、「騒音などについて、最新技術を使って何ができるか検討していこうというものであり、新ルート^①をすぐに変える、廃止するというものではなく、専門家を交えて長期的に検討していくことが目的」としており、検討会設置は住民の思いを感わせるものです。

新ルート^①運用の必要性が見いだせない状況にも関わらず、危険な低空飛行の下で当該地域の住民は騒音や環境汚染、落下物の危険性に加え、最悪のケースでは航空機事故も起こりうる不安な状況をいつまで耐え続けなければならないのでしょうか。十分な安全性が担保されず、かつ運航便数が激減する中での運用は、新ルート^①を固定化することが目的なのかとさえ考えられます。

経済活動を優先し都民、区民の生活や安全安心が脅かされ、犠牲とされるべきではありません。長期的な検討ではなく、暮らしと命を守るための政治的判断を行うべきです。



03 パイロットも不安 異例の「危険」報告

新ルート^①は千葉市付近から埼玉県方面に向かい、川口市上空で東京方面に約90度旋回して東京上空に降下しながら進みます。新宿や渋谷など都会の光景を眺めながらの飛行を訪日外国人は喜ぶかもしれませんが、都心を低空飛行して向かう羽田空港は「世界一着陸が難しい空港」だと国内外の航空関係者らが警鐘を鳴らしています。

2021年4月24日付の東京新聞では、2020年3月に新ルート^①運用が開始されてから1年間で、パイロットによる「ヒヤリ・ハット」航空機事故につながりかねない事例報告15件が国土交通省に寄せられていたと報道しています。従来ルートでは着陸時に安全な向かい風になりますが、新ルート^①では南南東に降下するため横風をうけます。また、通常3.0度程度の降下角度も3.45度と急になるため、「不安定になり、経験したことのない揺れ」「機体のコントロールに苦心」などと報告されています。これらは、あくまで自発的な報告であり、実際にはどれほど「ヒヤリ・ハット」の恐怖を感じた事例があるかは計り知れません。パイロット自身が機体操作に圧力を感じるような危険な運航ルートは即刻停止するべきです。

私たち立憲民主党渋谷は、今後も都心上空を低空飛行する羽田新ルート^①の運航に反対をいたします。



東京新聞4月24日付

04 みなさんも国土交通省に意見をお寄せください!

国土交通省のホームページ「羽田空港のこれから」のサイトにはコールセンターの番号(下に記載)とメールフォームが掲載されています。また渋谷区役所本庁舎や出張所には「ご意見カード」も設置されています。

是非、国土交通省に対し多くのご意見、反対の声を届けて下さい。

国土交通省
【羽田空港のこれから】
コールセンター

国土交通省
公式サイト

TEL.0570-001-596



国土交通省のご意見カード



渋谷区議会議員(4期)
吉田かよこ

- 区民環境委員会(副委員長)
- 自治権確立特別委員会



公式ホームページ

連絡先
〒151-0071
渋谷区本町6-38-6-306号
TEL.03-3373-7167
FAX.03-3373-7165



渋谷区議会議員(3期)
はるた学

- 文教委員会
- 交通公有地問題特別委員会



公式ホームページ

連絡先
〒151-0073
渋谷区笹塚3-54-6 7-ルガブネズ101
TEL.03-6276-2224
FAX.03-6276-2226



渋谷区議会議員(1期)
おだひろみ

- 総務委員会
- 五輪・パラリンピック対策特別委員会



公式ホームページ

連絡先
〒150-0011
渋谷区東2-4-2
TEL.080-5434-0088
FAX.03-6478-8077



渋谷区議会議員(1期)
中田たかし

- 福祉保健委員会
- 多様性社会推進特別委員会



公式ホームページ

連絡先
〒150-0044
渋谷区円山町26-7-1104
TEL&FAX.03-6884-0200
携帯電話.080-7383-8474